



# 盛岡つなぎ温泉病院だより



撮影者：雫石町 四ツ家 孝司

## 特定医療法人 盛岡つなぎ温泉病院

### 理念と運営方針

思いやりのある心で、信頼される優れた医療を目指します

- |                               |                         |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 医療水準の維持と向上に努め、質の高い医療を提供します  | 4 優れた医療人の育成に努めます        |
| 2 地域の医療ニーズに的確に対応し、医療連携を推進します  | 5 人の輪を大切にする職場環境作りを目指します |
| 3 患者さんの権利を尊重し、こころの温まる医療を提供します | 6 健全な経営基盤の確立に努めます       |



日本医療機能評価機構認定  
付加機能リハビリテーション機能認定  
日本呼吸器学会認定施設  
日本アレルギー学会認定教育施設  
日本感染症学会認定研修施設

〒020-0055 盛岡市繁字尾入野 64 番地 9



e-mail : [wawawa@tsunagi-hp.net](mailto:wawawa@tsunagi-hp.net)  
ホームページ : <http://tsunagi-hp-net>

電話 019-689-2101 (代表)  
FAX 019-689-2104

# リハビリだより テーション



当院へ入院されてくる方の中でも、「温泉に入れる」ということを知って来られる方は多いです。しかし入院してくる方全員が温泉に入れるわけではないのです。そこで今回は、入院してから温泉入浴が出来るようになるまでの流れをご紹介します。温泉に入る為には、出来なければいけない事や配慮しなければいけないことが色々あります。そのため、作業療法士と一緒に温泉に行き、安全に温泉に入る能力があるのかどうかを確認しています。

※温泉入浴は主治医の許可が必要です。

## 🔥 温泉入浴までの道のり 🔥

①主治医から温泉入浴の許可をもらう

いってらっしゃい！



②荷物を持った状態での病室から脱衣所までの移動



銀河の湯の暖簾をくぐり…



脱衣所にいく前に靴を脱いで入ります

長い距離でも大丈夫！



石鹸・タオル・着替え等  
必要な物を全部持って行きます



チェック✓

長い距離を歩いていく体力や、荷物を持った状態でも移動できる  
バランス能力等があれば車椅子や歩行車、杖でも温泉に行けます



### ③脱衣所での脱衣



チェック✓

脱衣所では、カゴに自分の荷物を入れます。カゴの移動も大事なポイントです！また脱衣所には椅子が設置されており、立ちながらも、座りながらも着替えが出来ればOK

椅子に座る時は  
タオルを敷いて清潔に使用

### ③脱衣所から浴室までの移動



チェック✓

浴室は床が濡れている状態の事がほとんどです。なので、濡れた床の上を安全に移動することが出来る必要があります。



女湯の窓の外は桜の木です  
運が良ければリスと会えるかも

シャワーは4席  
空いている席へご自由にどうぞ

### ④浴室での立ち座わり（椅子）



椅子は背もたれ付き  
鏡の両脇には縦手すりもついています

チェック✓

足元に気を付けて立ち座わりが出来ればOK

### ⑤洗体、洗髪



チェック✓

座った状態で、頭と体を洗っていきます。シャワー操作や頭を洗う、足を洗うなどの動作能力が安全にできているか、また、泡の洗い残しがないかも確認します。

※シャンプーがついていると、手すりをつかむ手が滑ったり、足元が滑ったりして危険です

## ⑥浴槽への出入り



両側に手すりがあり階段は4段  
床はざらざらとした質感

浴室まで持って  
入って大丈夫



チェック✓

階段かスロープを使用し  
入水します。手すりを使っ  
て安全に入れば OK



シャワー台の裏にスロープが！  
階段はまだ…という方には嬉しい

## ⑦浴槽内移動、立ち座わり、座位保持



浴槽内にも手すりを完備

チェック✓

水中での床からの立ち座わりやお湯の  
負荷がかかった状態でもふらつかずに  
移動ができれば OK

## ⑧清拭



チェック✓

拭き忘れがないかチェック  
水滴が付いたままだと、床が濡れ転倒の  
リスクが上がります。また、風邪をひく  
リスクも出てきます。

## ⑨着衣



チェック✓

着る時と同様、さらに湿った肌に服を着  
ていくことが出来れば OK



## ⑩リスク管理能力の有無



チェック✓

どんなことを行うにしろ、あらかじめ危険を察知したり、回避する方法を考えながら行動することになります。「長湯すると体調を崩すかもしれない」、「シャワーを向ける方向に人がいると迷惑をかける」など様々なことが挙げられます。自身でそのリスクを考え行動することが大切です。

## ⑪公共施設の使用に伴うマナー遵守可否



チェック✓

病院内は公共の場となります。他者と気持ちの良い空間を共有するために、モラルとマナーを守る必要があります。自分一人で使用しているのではないと常に気を付け行動することが大切です。

その他…



鏡の前で髪を乾かしてヘアセット  
ドライヤーも貸し出しています



脱衣所の一角にトイレがあります  
急な排泄欲求にも対応できます



最初から全員が温泉に入浴できるわけではありませんが、「温泉に入りたい!」という気持ちを原動力にしてリハビリを頑張っていただける方もいます。以上簡単にですが、当院での温泉入浴についてご紹介しました。



おでって  
くなんしえ

# 「コロナ時代を振り返る」

外来看護師長 感染対策担当看護師  
松岡 幸江

当院は岩手県の民間病院で唯一、コロナ患者の入院を受け入れた病院でした。今回は新型コロナウイルス感染症の発生当時からの当院を振り返ってみたいと思います。

**コロナ病床** コロナ患者の受け入れに手を挙げましたが、急性期一般病棟の病床を利用しての受け入れは6床が限度で、陰圧機械を設置し一般患者と交差しない環境作りに苦慮しました。当院は、中等症で酸素を使用する患者の受け入れ病院として登録し、2020年11月から2023年5月7日までトータル171人の入院患者を受け入れました。年齢は20歳台から100歳台まで、多いときには患者が7人となり、満床を超えて受け入れたこともありました。コロナ病床は、外来当直も兼ねる5人の看護師が担当し、2交代勤務、1勤務1名体制で対応しました。

**コロナと廃用症候群** 患者は感染から7～10日経過してもウイルス量が減少せず、死菌が含まれているとしても、すぐには隔離解除が出来ず、入院が長期化することが多くありました。また、当院はコロナ感染後に廃用症候群（長期間の安静状態や運動量の減少により身体機能が衰え、心身の様々な機能が低下してしまう状態）となった患者の受け入れも行っていましたが、特に高齢者は入院が長引いて生活動作レベルが低下したり、栄養状態が悪化したりすると改善に時間を要します。高齢かつ認知症患者の入院が多く、入院中に動作レベルが低下すると元の生活場所に戻ることが出来なくなるため、治療をしながら患者の安全に配慮し、日常生活動作の低下を防ぎながらの対応は想像以上に大変なものでした。対応したスタッフは見えないウイルスへの恐怖と闘いながらの生活を強いられました。

**クラスターとの闘い** クラスター発生の情報があちこちから聞かれる中、当院でも2022年4月に患者7名スタッフ8名のクラスターが発生しました。これを受けて、1カ月の間、入退院をはじめ、対面での外来診察、救急患者の受け入れ、通所リハビリテーションなど病院機能のすべてを停止しました。陽性患者はコロナ病床で管理しながら、他の病室をどのように管理し、病棟の感染対策をどのように分けて行えばよいのか、自施設の感染対策が適切に行えているのか不安ばかりでした。日を追うごとに感染者が増え、感染対策の落とし穴がどこにあるのか分からない恐怖を感じました。クラスターは「恥」との考えからか、感染対策の情報が入手困難な時期でもあり、病院の全機能を停止してのダメージは相当に大きいものでした。

**5類移行から1年** 現在も新型コロナウイルスは消えたわけではありません。感染症法5類になり、国ではインフルエンザと同じ扱いになりましたが、病院では同じではありません。感染が広がりやすく、効果的な治療薬がないため、病院に入り込まないようにいつも緊張状態にあります。

ワクチンの予防効果は低いとされていますが、重症化を予防し、後遺症の発症を防ぐ効果があると言われています。基本的な感染対策、手指衛生（手洗い）やマスクの着用、ワクチン接種を行い、新型コロナウイルス対策を継続していきましょう。手指衛生、正しいマスクの着用は、新型コロナウイルス対策だけでなく、インフルエンザ等、他の感染症対策の基本になります。自分の身体や家族の身体を守るために正しい感染対策を行いましょう。当院は発熱外来の対応を行っていますので、いつでも御相談ください。

# 食と栄養だより

## ☆テーマ☆ 病院食が提供されるまで

病院食が患者さんの手元に届くまでの流れはこのようなになっています！

### ① 献立作成

病院食は

- ・炭水化物・たんぱく質・脂質の割合が食事摂取基準 2020 の指定の範囲内に収まるように
- ・野菜は 1 日 350g 以上になるように
- ・成人一般食は塩分 1 日 7g 未満(塩分制限食は 6g 未満)
- ・食材や調理方法が被らないように
- ・その他各疾患に合わせた内容の調整

食事代をいただきながら  
その食事が治療の妨げになる…  
といったことがあっては  
なりません！



など細かい範囲内に収まるよう献立を作成しています。

上記の中で調整しながら、行事食、麺類、丼物、カレーやチャーハンなどの提供を行っています。

### ② 調理

作成した献立を大量調理マニュアルに沿って、加熱温度・加熱時間、加熱後の中心温度を確認後、定められた温度で洗浄・乾燥された食器を使用し、一人ひとりに合った食形態・食器で提供しています。

食形態：きざみ 副菜(いんげんの炒め物)



- ・繊維や硬い食材  
→軟らかい食材へ変更
- ・加熱して軟らかく
- ・咀嚼の力が低下して  
いる方などへ提供

自助食器での提供 主菜(肉豆腐)



- ・器がお膳の中で滑り  
にくく、器の壁を使い  
食材をすくえる
- ・上腕の筋力低下、  
麻痺のある方などが  
使用

### ③ 配膳

準備した食事は温冷配膳車で保管・移動し、各患者さんの手元へ配膳されています。

決まった制限の中でも、味付けや主菜と副菜の組み合わせ、行事食と普段の食事のメリハリなど、自宅に帰ったときの手本となるよう努力して提供しています。

### <行事食の例>



バレン  
タイン



ひな祭り  
ちらし



盛岡  
冷麺



## < 表紙の写真 > オオルリ

雄の鮮やかな瑠璃（青色）色から、江戸時代は「おほるり」と呼ばれていました。  
オオルリはウグイス、コマドリとともに、「日本三名鳥」に数えられています。  
春から夏にかけて、盛岡つなぎ温泉病院、御所湖散策路でも見ることがあります。

撮影者 四ツ家 孝司

## 皆様の作品を大募集しています！

俳句・川柳・詩・エッセーなど、本誌に掲載する作品を募集しています。

掲載させていただいた方にはQ u oカードを差し上げます。

ご応募いただく際は、お名前、ご住所、お電話番号、ご希望の方はペンネームを明記の上、郵便、FAX又はメールにて、下記までお願いいたします。

〒020-0055

盛岡市繫字尾入野 64 番地 9

盛岡つなぎ温泉病院 広報委員会

TEL 019-689-2101

FAX 019-689-2104

MAIL wawawa@tsunagi-hp.net

### 外 来 診 療 担 当 医 表

※令和4年12月1日より下記のとおりに変更となりました。

#### 内 科 外 来

	午 前	午 後
月	小西・三浦・南	南
火	谷藤・大澤・南	南
水	川村・古和田・南	古和田 ・ 15 時～ 関
木	川村・谷藤・斗ヶ澤	毛利
金	小西・関・大澤	毛利
土	第1週 大澤 第3週 谷藤 川村（再来）	

#### 整 形 外 科 外 来

月・火 木・金	午前	八幡順一郎
	午後	急患のみの対応となります

※ 整形外科は水曜日・土曜日は休診です。

#### 特 殊 外 来

診療科	診療日時	担当医
禁煙外来	月曜日・金曜日 午前	小西一樹

### < 受付時間 >

平 日 8:30 ~ 11:30  
13:30 ~ 16:30

第1・3土曜日 8:30 ~ 12:00

※ 第2・4・5土曜日は休診です。

### 盛岡つなぎ温泉病院メディケアプラザ

訪問診療	電話 019-689-2101
訪問看護ステーション	電話 019-689-3513
訪問リハビリテーション	電話 019-689-2101
通所リハビリテーション	電話 019-689-3512
居宅介護支援事業所	電話 019-689-3511
各事業所共通	FAX 019-689-3514

### メディケアプラザ中央通り

クリニック（内科、禁煙外来、健康診断、予防接種）  
受付 8:45~17:00 電話 019-654-3781  
日曜・祝日休診 FAX 019-653-1355  
ホームページ <https://www.mpcyuo.jp>

居宅介護支援事業所	訪問看護
通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション
メディカルフィットネス	
各事業所共通	電話 019-654-3782
	FAX 019-654-3783

### 編集後記

梅雨入り前から30度を超える真夏日となり、暑さに体調を崩す方も多かったようです。こまめな水分補給とバランスの良い食事、エアコンを使用するなどの室温管理で熱中症予防に努めましょう。

オリンピックや盛岡さんさなど、楽しみがいっぱいの夏、体調にはくれぐれもお気を付けください。  
(裕)

盛岡つなぎ温泉病院だより第72号  
令和6年8月発行

(発行・編集)  
盛岡つなぎ温泉病院  
広報委員会